



【交換率の違いと使用設定】

～いったいどれくらい違うのか？～



P-FAN SPECIAL EDITION



<P-FAN特集>

「等価交換と5.6枚交換」～分岐の違いと使用設定～

1) 利益の分岐と出玉率

現状で関東圏では等価交換（5.0枚）と東京をメインとした5.6枚交換とが混在しどるが、ホールにとってどのくらいの差があるか分かるかの？簡単に出玉率で説明すると等価交換なら出玉率100.0%で利益はゼロ、5.6枚交換ならお客様の回転率などで若干差があるが、101.0%くらいで大体利益がゼロになる感じじゃ。たかが1.0%の違いと思うかも知れんが、この差は結構大きくてジャグラーの設定でいえば下の図くらい違うんじゃ。設定5が使えるだけでも5.6枚交換の方が大分見栄えが良いのう。



【マイジャグラーⅢの使用設定イメージ】

台番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
出玉率約100.0%	3	2	2	4	2	3	2	4	3	2	2	3	4	2
出玉率約101.0%	4	2	3	5	4	3	2	2	5	3	2	4	2	2

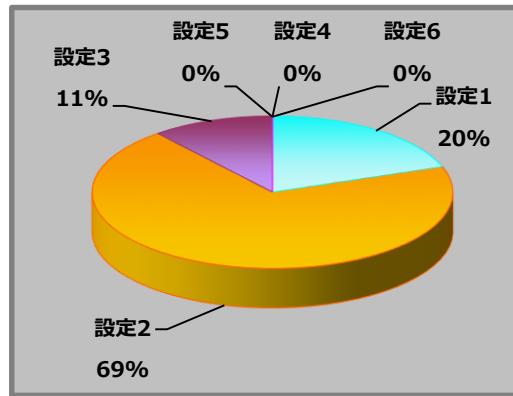
平均設定2.71

平均設定3.07

2) ジャグラーの使用設定実績

【月間使用設定の差異-マイジャグラーⅢ-】

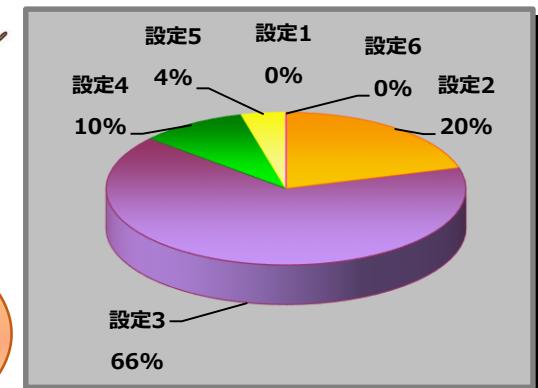
【等価交換店：関東】



等価交換店はやはり設定としては見劣りしちゃうわね。設定1があるのは仕方無いにしても、設定4以上が無いのは厳しいかも…。



【5.6枚交換店：関東】



設定1と6が無いのは店舗の特色かしら？何にしてもベース設定が3というのは安心して遊べそうね。これなら5.6枚交換でも納得だわ！



P-FAN SPECIAL EDITION

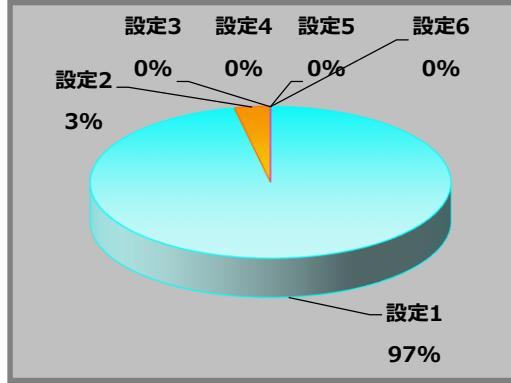


<P-FAN特集>

3) バジリスク絆の使用設定実績

【等価交換店：関東】

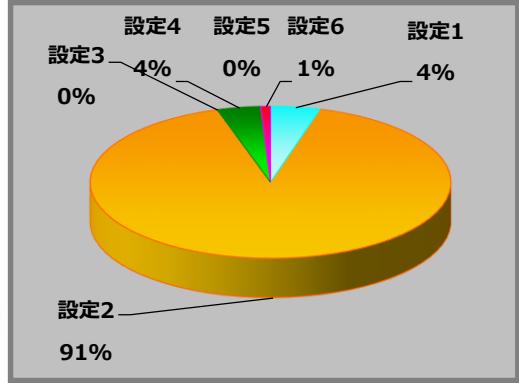
平均稼働23,000枚 利益率15.31%



【月間使用設定の差異-バジリスク絆-】

【5.6枚交換店：関東】

平均稼働22,500枚 利益率18.16%



4) 非等価交換のメリットとデメリット

悲しい鈴木さん



【デメリット】

一番懸念されるのはお客様に「より勝てなくなつた」と思われることじゃ。設定投入は飛躍的に出来るようになるのじゃから、これから「非等価交換」に変わる地域や県のホールは恐れずに思い切って設定を入れていって欲しいのう。利益は圧倒的に取れるようになるので、その状況に甘えて客負担を大きくするようだと、正直そのホールに未来は無いと思うぞ。もし全体的な設定UPが嫌じゃというなら、設定看破が容易な機種や、お客様が情報を多く持っている「老舗機種」から優先するのも手じゃ!!



私は非等価交換の方がメリットが大きいと思うケドね。だって設定入った方がお客様も喜ぶでしょ☆

【メリット】

何と言っても「使用できる設定」の幅が大きく広がるのが最大のメリットじゃろうな。上を見ても分かるようにこれだけベース設定をUPさせても5.6枚交換なら等価交換と遜色なく利益が取れんるんじゃ。入替や特定日などのアピールをせにやならんタイミングでも思い切って設定を投入出来るのが最大のメリットじゃ。また、月間での利益確保、進歩の心配も劇的に少なくなるぞい。全国的に早くこの「非等価交換」の流れがすすめば良いと思うのはワシだけなのか…?



嬉しい鈴木さん

